

JURA

http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository

城西大学機関リポジトリ



学校法人 城西大学

城西大学・城西短期大学

「JURA (ジュラ)」

Josai University Repository of Academia

名前の由来は、「ジュラ紀」に栄えた恐竜、森、原生林を意味するラテン語 jura (ユリア) から、学術文献の保管基地として根を張り広がっていくように付けました。



城西大学機関リポジトリ



城西大学学長 白幡 晶

機関リポジトリは、大学が生み出した電子的資料を、インターネットで検索可能な形で収集・保管し、無料で広く一般に提供するシステムです。このシステムは、大学の教育・研究活動を社会に還元するための新しい役割を担うものと考えられていることから、急速にその設置が世界中の大学で進められてきました。わが国では、大学を含めた多くの研究機関が対応すべき課題として、文部科学省から公表された報告書「学術情報の国際発信・流通力強化に向けた基盤整備の充実について」(2012年)の中で、機関リポジトリの活用による情報発信機能の強化が指摘されました。その結果、これまでに設置されたリポジトリ数は、日本国内では590となり、そこには200万件を超えるコンテンツが登録されています。

城西大学では、早くから教育・研究成果の電子資料の公開を目指し、2010年より本学独自の城西大学機関リポジトリJURA(Josai University Repository of Academia)を立ち上げました。JURAでは、学内で発行される紀要や年報、学位論文(博士)、科学研究費などの報告書、公開講座の講演要旨、学外発表論文などの他に、大学の広報資料なども含めた約5,000件のコンテンツを、無料で公開・発信するサービスを行っており、2016年度の年間ダウンロード数は8,000件に及びます。

これらのサービスは、大学が公的資金を得て行なった研究成果を公表することで、社会に対する説明責任を果たすことにもなり、また、大学の研究動向を積極的に外部に公表することで、新たな産学連携につながる可能性も広がります。さらに、研究者にとっても自分の研究成果のアピールの場ともなります。したがって、JURAの有効活用は、本学及び教員にとっても非常に重要な意味を持つものと考えています。

城西大学は、本学の図書館が学術情報サービスの拠点として、教育研究を支援し、学外の多くの方に本学の成果を利用していただく活動を進めることで、地域社会の発展に寄与することを願っています。

JURA登録の流れ

登録対象者による手順

大学・図書館による手順

登録できるもの

- 学術雑誌論文
- 図書
- 学位論文
- テクニカル・レポート
- 紀要論文
- 研究報告書
- 会議発表論文
- 一般雑誌記事
- 会議発表用資料
- ソフトウェア

登録対象者

- 城西大学に設置する、または設置した組織の代表者
- 城西大学に在籍する、または在籍した役員および教職員、その他これに準ずる者
- 城西大学に在籍する、または在籍した大学院学生
- 城西大学に在籍する、または在籍した研究員
- その他統括責任者が認める者

- JURA登録許諾書(JURAトップページよりダウンロードできます)
- コンテンツの電子版を、添えて提出してください。

※JURAへの登録は著作権者の許諾が必要です。共著者がいる場合は事前に許諾をお取りください。PDF版がない場合、別刷をご提出ください。図書館でスキャンしてPDF化します。

	提出時	提出先
公開講座の資料	JURA登録許諾書とPDF	生涯教育センター、学務課
学外発表論文	JURA登録許諾書とPDF (著者版または出版社版)	学務課 ※学長所管の投稿料申請をしない場合は直接図書館へ提出してください。
科研費報告書	JURA登録許諾書とPDF	教務課
紀要論文	_____	各学部事務室・センター 印刷業者から発行と同時に図書館へPDF版が納品されます
学位論文	JURA登録許諾書とPDF	学部事務室
その他 パンフレット、ポスター などの広報資料	JURA登録許諾書とPDF	図書館

図書館



- コンテンツ・許諾書の確認
- 出版元の許諾確認
- メタデータの作成
- JURAへのコンテンツ登録

Q

機関リポジトリ登録にあたって著作権はどうなるのか？

A

機関リポジトリに登録しても、著作権が図書館に譲渡されることはありません。
各学会・出版社の対応ポリシーは、下記サイトで調べることができます。

国 内	<p>学協会著作権ポリシーデータベース ScpJ (Society Copyright Policies in Japan) http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/</p>
	<p>掲載例</p> <p>発行元 公益社団法人日本薬学会 発行雑誌 Chemical and Pharmaceutical Bulletin</p> <hr/> <p>ポリシーは Blue (査読後論文のみ認める) で、出版社版が利用可能。 著者が所属する機関リポジトリへの搭載を許諾するとあり、公開の形態は冊子の当該論文をスキャンしたものが、J-STAGE搭載のPDF版が利用できるとあり。</p>

国 外	<p>SHERPA RoMEO: Publisher copyright policies & self-archiving http://www.sherpa.ac.uk/romeo/</p>
	<p>掲載例</p> <p>発行元 Elsevier 発行雑誌 European Journal of Pharmaceutical Sciences</p> <hr/> <p>ポリシーは Green (査読前・査読後のどちらでも可能) だが、出版社版は許可しないとある。</p> <p>Author can archive pre-print (ie pre-refereeing) Author can archive post-print (ie final draft post-refereeing) Author cannot archive publisher's version/PDF</p>

※図書館ではJURAに登録する際に、必ず調査しています。

検討中、不明の学協会・出版社については、図書館より問い合わせいたします。

博士論文の掲載について

平成25年4月の学位規則改正に伴い、平成25年4月1日以降に博士の学位を授与された人は、それまでの国立国会図書館への納本義務に替えて、博士論文の全文、論文の要旨、論文審査の結果を博士の学位を授与した大学の機関リポジトリなどで公表しなければならなくなりました。もし、「やむを得ない事由」があり公表できない場合には、学位を授与した大学の承認を受けた後、当該博士論文の全文に代えて内容を要約したものを公表することができます。ただし、「やむを得ない事由」が解消された際には、当該博士論文の全文を学位を授与した大学の機関リポジトリなどで公表しなければなりません。詳細は、文部科学省の以下のサイト「学位規則の一部を改正する省令の施行等について」に掲載されています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/detail/1331790.htm

申請・登録についての問い合わせ先

城西大学水田記念図書館【JURA担当】 TEL: 049-271-7736 (内線1150) E-Mail: libir@josai.ac.jp

http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository

世界に問う「城西力」登録へのご協力をお願いします。

発行日 2017年4月1日

大学は社会的な存在ですので、その教育・研究に関する活動の過去・現在・未来を、広く社会に、そして海外に向けても、情報として発信することは、大変重要なことと考えます。

水田記念図書館は、城西大学機関リポジトリ(JURA)の運営担当としても活動しています。情報の収集と教職員・学生への提供というこれまでの業務に加え、情報を外部に発信する部分も担うことになります。このような活動においては、著作権というようなルール上の問題にしっかり対応しておくことが不可欠です。JURAの確実な運営のために、学内全体の研究倫理に関する啓発活動にも参加しています。城西大学の教育・研究活動、そして社会貢献・地域連携活動が良質なものであり、さらに発展していく大学であると全ての人にご理解いただくため、大変責任が重いものと思っております。

私が所属する薬学部で行う教育・研究に関する活動も、最新の医薬品開発に関する海外研究者との情報交換、薬学以外の研究分野との交流による新技術の開発、海外の大学との交流による薬剤師養成教育の改善研究、地域の病院や薬局との協働、近隣住民のWell-beingに直接的に貢献する活動など、様々な次元でのつながりが必要です。そしてそのためには、まず城西大学薬学部の活動をご理解いただくことが必要で、これらの活動の多様な受け手に対して必要とされる形でバランス良く情報を発信することが求められます。紀要論文や学術論文だけでなく、各種講演会のポスターやチラシ、レジメなどをJURAに掲載して発信することが、城西大学の今やこれからの表すのにより適切と思われれます。JURAのコンテンツをその数・内容の両面でより充実したものにしていかなければと思っています。

皆様には、ぜひJURAにアクセスしていただき、ご意見等賜ればとお願いいたします。

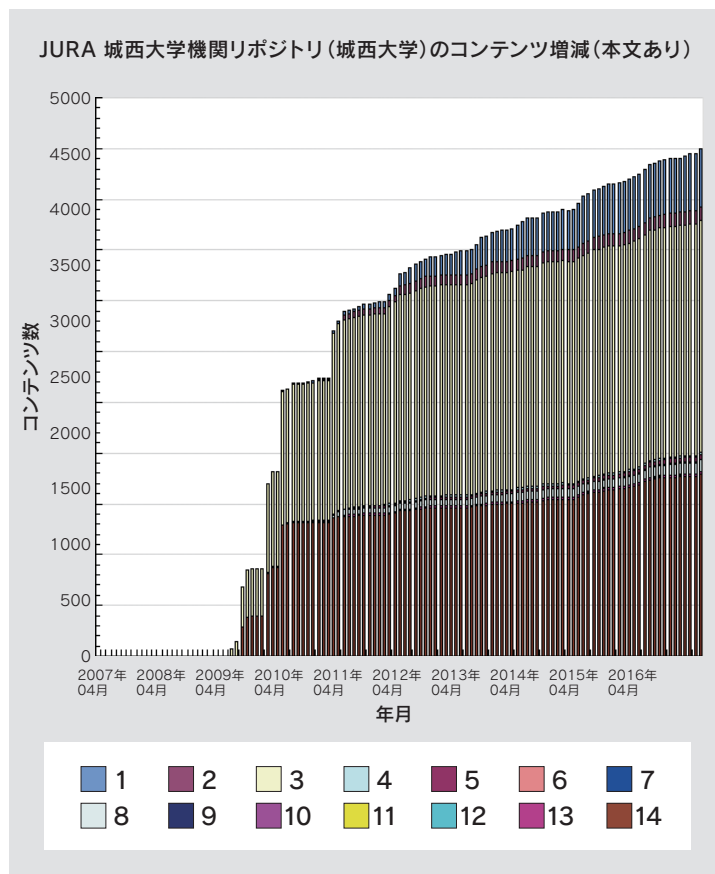
JURA掲載コンテンツ

紀要論文、学術論文、学位(博士)論文など、本学に所属する教職員、大学院生、組織が作成したものを対象に登録しています。また、本学の貴重資料、ポスター・パンフレットなどの広報資料も登録しており、本学のアーカイブ(保存書庫)としての機能もあります。登録された各コンテンツには不変のURIが付与されるため、各コンテンツへの永続的なアクセスが保証されています。

●資源タイプ別JURAコンテンツ数内訳(割合)

1	Journal Article (学術雑誌論文)	574 (11.5%)
2	Thesis or Dissertation (学位論文)	129 (2.6%)
3	Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	2,280 (45.7%)
4	Conference Paper (会議発表論文)	21 (0.4%)
5	Presentation (会議発表用資料)	46 (0.9%)
6	Book (図書)	7 (0.1%)
7	Technical Report (テクニカルレポート)	2 (0.0%)
8	Research Paper (研究報告書)	112 (2.2%)
9	Article (一般雑誌記事)	2 (0.0%)
10	Preprint (プレプリント)	0 (0.0%)
11	Learning Material (教材)	0 (0.0%)
12	Data or Dataset (データ・データベース)	0 (0.0%)
13	Software (ソフトウェア)	22 (0.4%)
14	Others (その他)	1,797 (36.0%)
合計		4,992

2017.2.28現在



国立情報学研究所 IRDBコンテンツ分析による

http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository

城西大学水田記念図書館【JURA担当】

TEL:049-271-7736(内線1150) E-Mail: libir@josai.ac.jp

発行日 2017年4月1日
 発行者 城西大学水田記念図書館